


感染症分野

研究領域

「開発途上国のニーズを踏まえた感染症対策研究」

採択年度	2023年	研究期間	5年間
研究課題名	住血吸虫症の撲滅に向けた北里創薬の流行地実装に関する研究開発	貢献する主なSDGs	
研究代表機関	北里大学		
相手国	ガーナ共和国	主要相手国研究機関	ガーナ大学 野口記念医学研究所
研究課題の概要			
<p>途上国を中心に湖沼・河川流域に広がる住血吸虫症流行地の撲滅に向け、本研究では地球規模で有効な抗住血吸虫新薬を創出する。そのために、ガーナ国のボルタ川流域において、住血吸虫や中間宿主貝などの挙動を視覚化した水安全性マップを構築し、生物情報エビデンスに基づく生活環遮断技術、住民本位の集団投薬法からなる感染封じ込めパッケージを開発する。これによって、制圧・排除・根絶に向けたレジリエンス戦略が誕生し、薬理作用が規定されたリード化合物により、臨床試験などを実施する社会実装支援PJを提案する。北里創薬による流行地撲滅ソリューションは西アフリカでの実用化を経て、住血吸虫症に苦しむ国々での実運用が期待される。</p>			